

第 59 回(2015 年)宇宙科学技術連合講演会オーガナイズドセッション企画書

1. OS セッション名

『有人宇宙プログラムにおける火災安全性の向上』

2. オーガナイザー

◆ 藤田修(北海道大学大学院工学研究院機械宇宙工学部門宇宙環境応用工学研究室)

◆ 細貝亜樹(JAXA 有人技術部門 きぼう利用センター)

※※※各種問い合わせは、細貝までお願い致します。※※※

3. セッションの目的・意義

有人宇宙プログラムを対象とした火災安全性向上に関する最新の研究成果を、広く宇宙業界関係者へ展開し、火災安全に関する情報を共有することを目的としている。特に研究結果の受け取り手となる有人プログラム関係者には、研究内容を理解頂き、我々の研究スコープが外れていないかを確認して頂くとともに、研究に対する指摘や評価、並びに要望を頂くことが重要であると考えている。宇宙科学技術連合講演会は、広く宇宙業界の方が集まる場であるため、この場で、我々の研究を一年に一度、関係者へ周知・議論できることは非常に有意義であると考えられる。

4. セッションで発表する内容に関する背景・論点

「火災安全性向上に向けた固体材料の燃焼現象に対する重力影響の評価(FLARE)」は平成 24 年度「きぼう」利用テーマの重点課題区分の一つとして選定されたプロジェクトとなっており、新しい燃焼性試験規格を ISO に提出することを研究の最終目標としている。

議論の中心は上記 FLARE プロジェクトの最新の研究成果を中心とし、宇宙火災安全研究をキーワードとして、各重力レベルによる燃焼性状の把握や、民間ならびに有人宇宙材料の火災安全技術や材料の燃焼性評価技術等の内容について議論を深める。

5. セッション形式、発表件数、セッション数

形式: 講演のみ

件数: 10件程度

セッション数: 3 件程度

6. 個別発表課題と発表者、所属、アブストラクト

下記は依頼予定リスト。(現在調整中)

セッション#1

司会者;鳥飼宏之 准教授(弘前大学)

1. 「電線被覆材料の燃焼に及ぼす重力影響(仮称)」、藤田修 教授(北海道大学)
2. 「平板試料の燃焼に及ぼす重力影響(仮称)」、高橋周平 教授(岐阜大学)
3. 「着火限界に及ぼす重力影響(仮称)」、津江光洋 教授(東京大学)

4. 「一次元モードでの火炎伝播に関する考察(仮称)」、中村祐二 准教授(豊橋技術科学大学)

セッション#2

司会者;高橋周平 教授(岐阜大学)

5. 「有人宇宙プログラムに適用可能な消火技術について(仮称)」、鳥飼宏之 准教授(弘前大学)
6. 「軌道上実験装置の製作状況(仮称)」、菊池政雄 (JAXA)
7. 「固体内部の温度計測手法(仮称)」、横森 剛 准教授(慶應義塾大学)
8. 「宇宙施設の避難時に発生する問題点の考察(仮称)」、佐々島 暁 (日本防災研究所)

セッション#3

司会者;中村祐二 准教授(豊橋技術科学大学)

9. 「自動車における火災安全対策(仮称)」、山崎浩嗣 (一般財団法人 日本自動車研究所)
10. 「燃焼生成ガスの毒性評価 (仮称)」、細貝亜樹 (JAXA)

7. その他

- ・大学での授業日程の関係で、開催日は 10/9(金)として頂けますでしょうか。
- ・一般の講演者の追加を受け入れます。